

2012年5月17日



PRESS RELEASE

森トラスト株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-3-17
虎ノ門2丁目タワー
お問い合わせ先: 広報部
TEL 03-5511-2255 FAX 03-5511-2259
URL <http://www.mori-trust.co.jp>

(注) 森観光トラスト株式会社は2013年2月、
森トラスト・ホテルズ&リゾート株式会社に
社名変更致しました。

同時発表：
国土交通記者会
国土交通省建設専門紙記者会

森トラストグループ 2012年3月期業績報告

森トラスト株式会社、森トラスト・ビルマネジメント株式会社、森観光トラスト株式会社など、
森トラストグループ20社(森トラスト、連結子会社16社、持分法適用関連会社3社)の2012年3月期
の連結業績をお知らせ致します。

[森トラストグループ 連結業績] (2011年4月1日～2012年3月31日)

(金額の単位は百万円、表記は百万円未満切り捨て)

		2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期予測
1	営業収益	111,962	95,574	96,000
	内 賃貸関係事業	58,515	56,324	58,000
	ホテル関係事業	19,492	17,928	20,000
	不動産販売事業	19,889	4,827	3,000
	その他事業(請負工事他)	14,065	16,493	15,000
2	営業利益	20,110	20,017	26,000
3	経常利益	17,135	22,450	23,000
4	当期純利益	14,742	16,118	12,000

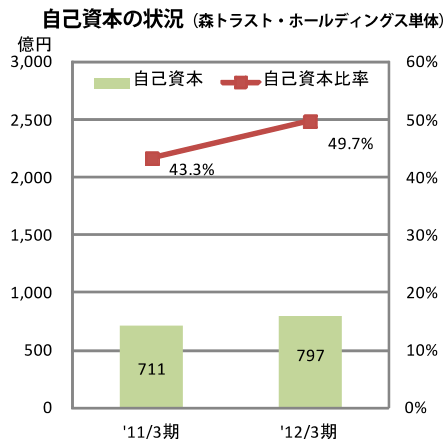
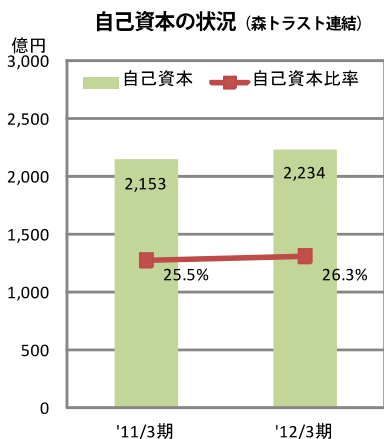
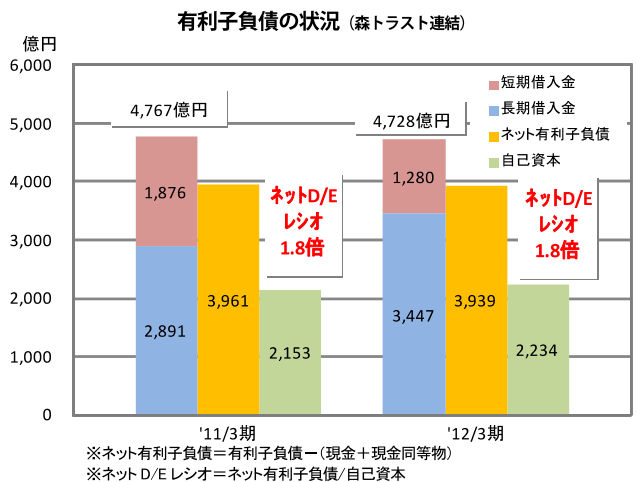
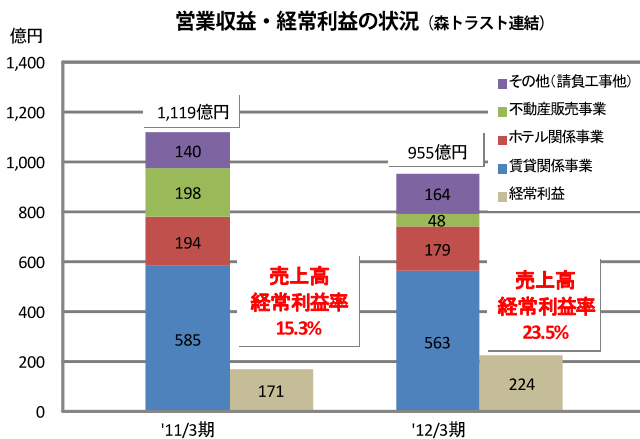
業績サマリー

○2012年3月期は営業収益955億円、経常利益224億円と、東日本大震災や弱含みで推移する不動産市況の影響を受けたものの、財務基盤の強化や経営効率化が奏功し、減収増益となりました。2013年3月期の予測では、営業収益960億円、経常利益230億円の増収増益を見込んでいます。

[次ページより概況および事業トピック]

2012年3月期の業績概況

- 営業収益のうち「賃貸関係事業」は、『仙台トラストシティ』の通期稼働や、震災後のテナントの防災意識向上などを背景とした既存物件の稼働率上昇が収益に寄与しましたが、オフィス需給ギャップに伴い弱含みで推移する市況の影響を受け減収となり、563億円を計上しました。
- 「ホテル関係事業」は、東日本大震災による国内外のビジネス・観光需要の低迷を受け減収となりましたが、その後、主力のラフォーレホテルズ&リゾート事業で国内観光需要の回復を取り込んだことや『ウェスティンホテル仙台』の通期稼働などが収益に寄与し、179億円を計上しました。
- 「不動産販売事業」は、免震構造を採用したことで震災後にさらに評価の高まった仙台の『ザ・レジデンス一番町』の順調な販売などが収益に寄与しましたが、市況を鑑み新規分譲マンションの開発を見合わせているなか、販売戸数の減少に伴い減収となり、48億円を計上しました。
- 「その他事業」は、テナントの入居増に伴う子会社の請負工事収益が増加したことなどにより増収となり、164億円を計上しました。
- 営業外損益において日本エスリード株式会社が新たに持分法適用会社になったことなどにより経常利益は224億円、前期比31.0%の増益となりました。
また、当期純利益は、投資有価証券売却による特別利益の計上や法人税率の変更に伴う利益の増加により、161億円、前期比9.3%の増益となりました。
- 2009年以降実施してきた財務体質強化策により、2012年3月期末時点における森トラスト連結の財務状況は総資産8,494億円、純資産2,264億円であり、少数株主持分控除後の自己資本比率は26.3%に向上しました。
なお、同時点における森トラストの持株会社である株式会社森トラスト・ホールディングス単体の財務状況は総資産1,605億円、純資産797億円であり、自己資本比率は49.7%です。



2013年3月期の業績見通し

○2013年3月期の業績見通しについては、『京橋OMビル』の新規稼働や既存オフィスビルの稼働率が向上するなか、底打ち傾向にあるオフィス市況を反映し賃料下落も限定的となることを想定し、「賃貸関係事業」では増収の580億円を見込んでいます。「ホテル関係事業」は、震災の影響が和らぎホテル需要が回復することにより、増収となり200億円を見込んでいます。「不動産販売事業」は、マンション分譲収益等により30億円を見込んでいます。「その他事業(請負工事他)」は、150億円を見込んでいます。

「賃貸関係事業」、「ホテル関係事業」の主力2事業の増収を受け、営業収益960億円、経常利益230億円の増収増益を見込んでいます。

本資料に記載の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいています。実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

■賃貸等不動産関係

当社グループが保有している賃貸等不動産の連結貸借対照表計上額および時価は、以下のとおりです。

(当期末の時価は、主として「不動産鑑定評価基準」に基づいて自社で算定した金額です。)

連結貸借対照表計上額は5,358億円、時価は10,003億円、含み益は4,645億円となります。

不動産事業

◇京橋エリアにおいて、防災性能・環境性能を強化した2つの開発案件が着工

都市再開発が進む中央区京橋エリアで推進してきた2つの開発案件が2011年に着工しました。東日本大震災における仙台トラストシティを中心とした震災対応・被災者支援の経験を生かした、高い防災性能と環境性能を兼ね備えたビルとして建設中です。

・『京橋トラストタワー』（2011年11月着工、2014年2月末竣工予定）

明治屋京橋ビルの隣接地で中央通り沿いに面する立地を最大限に生かした、オフィス・ホテル・店舗で構成される大型複合ビル。

<特徴>

- ・グローバル企業の本社機能をメインターゲットに据えた高規格オフィス、インテリアデザインを株式会社バルスとコラボレーションしたハイタッチな感性を持つ約150室の宿泊主体型ホテルの複合。
- ・「最高水準の防災対応」を基本コンセプトに据え、次世代のテナントBCP(事業継続計画)に対応する業界最高水準の非常時電源供給を実現。通常時電力需要の最大約8割をカバーする非常用発電機を実装し、停電時、テナント専用部も含め約1週間の事業継続が可能。
- ・高い環境性能を実現し、東京都省エネルギー性能評価書で最高のAAAランクを達成。

・『京橋OMビル』（2011年8月着工、2012年9月末竣工予定）

大野ビルの建て替え計画として推進中の、同規模クラスのビルとしては業界最高水準の防災性能・環境性能を実現するオフィスビル。

<特徴>

- ・基準階貸室面積約274坪、機能性を追求した整形無柱の執務空間を実現。
- ・テナント企業のBCPに貢献する高い耐震性能や非常用発電機などを実装。
- ・専用部照明の全面LED化、太陽光発電パネルの設置による自然エネルギーの利用など、環境に配慮した技術を多数導入。

◇リーガロイヤルホテル（大阪）の土地取得・ロイヤルホテルと新たな資本業務提携

2011年9月に、森トラストはリーガロイヤルホテル(大阪)の土地を関電不動産株式会社と共同で取得しました。

併せて当該土地におけるホテルの建て替えを含めた再開発事業を2021年に実現させることを目指し、株式会社ロイヤルホテルとの間で新たに資本業務提携契約を締結しました。

なお、当該土地を含む「大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域」は、2012年1月に国から「特定都市再生緊急整備地域」に指定された、国際的な拠点形成のための都市機能の高度化が期待されるエリアです。

◇『丸の内トラストシティ』 DBJ Green Building 認証の最高ランク「プラチナ」を取得

2012年4月に、森トラストが東京駅隣接地において手掛けた丸の内トラストタワー本館・N館の2棟のビルからなる複合再開発『丸の内トラストシティ』が、国内トップクラスの「環境・社会への配慮」がなされたビルとして「DBJ Green Building 認証※」の最高ランク「プラチナ」の認証を取得しました。

※株式会社日本政策投資銀行が、環境性能に加え、社会的要請への配慮等を含めた総合評価に基づき、現在の不動産マーケットで求められる環境・社会への配慮がなされた不動産(Green Building)を選定・認証するもので、評価に応じてプラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズの4段階の認証が付与されます。

◇『大阪支店』開設

2012年4月に、森トラストは関西圏での営業力強化を目的とし、『大阪支店』を開設しました。また、関西圏における森トラストグループ企業とのさらなる連携向上も図っていきます。

ホテル&リゾート事業

1. 既存ホテル&リゾート事業

◇ラフォーレホテルズ&リゾート

全国の主要リゾート地と東京・大阪の2大都市で法人会員制のホテル(リゾート・シティ)・ゴルフ場を展開しているラフォーレホテルズ&リゾートでは、引き続き「選択と集中」をコンセプトに運営の効率化を図っています。

現在、時代を捉えたサービス提供のため、『総合リゾートホテル ラフォーレ修善寺』の一部施設リニューアルを検討しています。

◇ウェスティンホテル仙台（『仙台トラストシティ』内）の営業再開

森観光トラストが運営する『ウェスティンホテル仙台』は、被災地東北の早期の復興を目指し、2011年4月29日に営業を再開しました。地元仙台や国内観光客の拠点としての機能を果たすほか、復興にかかわる国際会議等の積極誘致を行い、実現させています。

◇観光案内事業（『TIC TOKYO』）

森観光トラストが運営する多言語対応観光インフォメーションセンター『TIC TOKYO』は、2009年6月のオープン以来、訪日外国人を含む多くの方々から「旅」の情報を求め来館されており、2011年8月末に来館者数70万人を突破しました。なお、2012年5月末には100万人に達する見通しです。また、『TIC TOKYO』では、全国の観光案内所向けに、Skype活用による遠隔地における訪日外国人への観光案内サービスのサポート事業を開始しています。

2. 新規ホテル&リゾート事業

◇京都嵐山の「ホテル嵐亭」跡地を取得

2011年12月に、森トラストは京都嵐山において、天龍寺や宝厳院をはじめとする名刹に隣接した「ホテル嵐亭」跡地を取得しました。森トラストグループは、資本・経営参加している軽井沢の名門老舗ホテル「万平ホテル」において伝統や意匠性に現代的快適性を融合させた改装を手掛け、新規のお客様のみならず、常連のお客様からもご好評頂いています。「ホテル嵐亭」跡地においても、森トラストグループのノウハウを活用し伝統と格式を継承した再生を行い、京都嵐山にふさわしい高級和風宿泊施設を開業する予定です。

◇京橋ホテル計画で株式会社バルスとコラボレーション

2012年3月に、森トラストは『京橋トラストタワー』内で計画中のホテルのインテリアデザインについて、『フランフラン』や『BALS TOKYO』など様々なインテリアショップブランドを展開する株式会社バルスとコラボレーションすることで合意しました。「新しい感性のデザインとホスピタリティを持ったハイタッチなホテル」を目指し、森トラストグループの直営ホテルとして2014年開業予定です。

3. 新しい取り組み

◇イノベーション事業部新設

森トラストグループの各グループ会社から得られる開発、管理運営、BCP、ホテル運営などの知識を融合しながら、ユーザーの視点に立った新しい価値を創出し、革新的なチャレンジにつなげていくために、森観光トラストに『イノベーション事業部』を新設しました。

◇被災地における高校生および既卒者の採用実施

森観光トラストでは、東日本大震災の復興支援の一環で、宮城・岩手・福島などの被災地において、2012年3月に高等学校を卒業する見込みの高校生および卒業後3年以内の既卒の方(2009年3月以降の卒業生)を対象とした採用を行いました。

◇第 12 回 世界旅行ツーリズム協議会 (WTTC) グローバルサミットに参加

2012 年 4 月 16 日～19 日にかけて、世界のツーリズム関連企業トップが集まる WTTC の第 12 回グローバルサミットが東京および仙台で開催されました。森トラストグループは、東日本大震災により停滞している観光産業ならびに関連産業の活性化に寄与するため、当サミットを被災地である仙台で開催すべく尽力し、森観光トラストが運営する『ウェスティンホテル仙台』を会場として提供するなど、当サミットの開催および成功へ向けて多様な側面から参加し支援しました。

投資事業

◇日本エスリード株式会社との資本業務提携

2012 年 2 月に、森トラストは日本エスリード株式会社の株式(5,000,000 株、発行済株式の 32.3%)を取得し、同社との間で、資本業務提携契約を締結しました。本業務提携を通じて、両社が相互に経営ノウハウを提供することにより、国内におけるマンションの企画・開発・販売等を協力して推進し、両社の企業価値向上を図ることを目的に、現在両社間で協議しています。

なお、日本エスリード株式会社は、2012 年 6 月に開催予定の同社株主総会において、当社が指名する者 1 名(森トラスト大阪支店長)を同社の取締役として選任する議案を提出する予定です。

◇株式会社パルコの株式を譲渡

2012 年 3 月に、森トラストは保有していた株式会社パルコの株式(発行済株式の 33.2%)すべてを、J-フロント リテイリング株式会社に譲渡しました。当社から派遣している役員 2 名は任期満了に伴い退任する予定です。

防災に対する取り組み

東日本大震災の際、仙台トラストシティを中心にグループ全体で震災対応・被災者支援ほか、被災地復興支援活動、それらの経験を活かした防災対応力の強化を行っています。

◇東日本大震災発生直後の帰宅困難者・被災者支援活動

東日本大震災の発生直後から、仙台トラストシティをはじめ、多くの施設で帰宅困難者を受け入れ、備蓄品・情報・携帯電話充電スペースの提供等、様々な支援を行いました。その後も森トラストグループ独自の『グリッド型 BCP(事業継続計画)』を活用することで、被災地情報や被災者ニーズを共有し、グループ全体で延べ約 11,000 人の帰宅困難者・被災者を受け入れました。

◇『防災宣言』の策定

東日本大震災における仙台や東京での経験を通じ、耐震・防災に関して建物のハード面やソフト面の検証、今後の改善項目および取組方針について『防災宣言』としてまとめました。この宣言に基づき、『京橋トラストタワー』や『京橋 OM ビル』など新規開発においても防災性能の高い開発を行っています。

◇東日本大震災からの復興支援活動

東日本大震災以後、寄附、募金活動、グループホテルでの被災地食材を使用した特別メニューの提供、震災孤児・遺児の子供たちをサポートする『みやぎみらいプロジェクト』の立ち上げ、『トラストシティ キャンドルナイト』など、様々な東日本大震災に関する支援活動を実施しています。

◇電気自動車（EV）向け充電スペースの設置

2012年1月～3月にかけて、東京・仙台・大阪（リーガロイヤルホテル（大阪））の3拠点の関連施設駐車場に計12ブースの電気自動車向け充電スペースを設置しました。各充電設備は、非常用発電機に接続しており、大規模災害などによる停電時においても充電可能です。

◇BCP（事業継続計画）・DCP（地域継続計画）を強化する震災訓練の実施

森トラストグループでは、独自の『グリッド型BCP（事業継続計画）』を採用しています。

『グリッド型BCP』では、森トラストグループ関連約90施設を、各エリアの基幹施設を核としたグループに分けて群管理を行い、各グループをグリッド状にネットワーク化することで、情報の明確化・一元化を可能とすると同時に、有事の際の対応スピード向上や代替対応への柔軟性を確保することを目的としています。

2012年3月には、この『グリッド型BCP』の強化を図り、グループ全体で総合震災訓練を実施しました。また、東京都が行った帰宅困難者対策訓練にも協力し、DCP（地域継続計画）の強化にも貢献しています。

新規プロジェクト 概要

■都市開発プロジェクト

◇ 京橋エリアにおける事業



名称	京橋トラストタワー
所在地(地番)	東京都中央区京橋2-1-8他
敷地面積	4,403.86 m ² (約1,332坪)
延床面積	約52,000m ² (約15,700坪)
階数	地上21階 地下3階
最高高さ	約108m
主要用途	オフィス(5-21階)、ホテル(2-4階)、店舗(1階)、 駐車場(地下1階-地下3階)
着工	2011年11月
竣工(予定)	2014年2月末



名称	京橋OMビル
所在地(地番)	東京都中央区京橋1-19-7他
敷地面積	1,347.20 m ² (約407坪)
延床面積	約9,600m ² (約2,900坪)
階数	地上8階 地下1階
最高高さ	約37m
主要用途	オフィス(2-8階)、店舗(1階)、駐車場(1階-地下1階)
着工	2011年8月
竣工(予定)	2012年9月末

◇ 虎ノ門・神谷町エリアにおける事業



	(仮称) 虎ノ門四丁目プロジェクト	旧農林水産省研修館跡地
所在地(地番)	東京都港区虎ノ門4-24-6他	東京都港区六本木1-113-16他
敷地面積	16,271.47m ² (約4,922坪)	1,782.13m ² (約539坪)
開発計画	未定	未定

■ホテルプロジェクト

◇ 「京橋トラストタワー」



所在地	東京都中央区京橋(京橋トラストタワー 2-4階)
客室数	約150室
施設概要	「Francfranc(フランフラン)」や「BALS TOKYO(バルストウキョウ)」など様々なインテリアショップブランドを展開する株式会社バルスト、ホテル内のインテリアデザインについて協働。宿泊主体型のホテルを計画中。
開業(予定)	2014年

◇ 「ホテル嵐亭」跡地



所在地	京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町
客室数	未定
施設概要	「ホテル嵐亭」跡地の持つ伝統と格式を継承しながら明治期に造営された建築物を残して再生し、由緒ある観光地「嵐山」地区にふさわしい高級和風宿泊施設を開業予定。
開業(予定)	未定

森トラストグループ 賃貸・運営施設

■賃貸・運営施設 (2012年3月31日時点)

○賃貸ビル：約 136 万m²[68 棟]

○ホテル・リゾート施設： 30 ヶ所 (客室数：約 7,100 室)

ラフォーレホテルズ&リゾート 14 ヶ所、ウェスティンホテル仙台、万平ホテル、コンラッド東京、リーガロイヤルホテルグループ&アソシエイトホテルズ(資本業務提携先 全国 11 ホテル)
シャングリ・ラ ホテル 東京(リース)、ホテルサンルートプラザ新宿(リース)

森トラストグループ 連結対象会社概要

森トラスト株式会社

所 在 東京都港区虎ノ門
社 長 森 章
設 立 1970年6月10日
資 本 金 100億円
事業内容 都市開発、ホテルの経営および投資事業

MTLファンド1号投資事業有限責任組合

運営会社 MTLラボキャピタル株式会社
設 立 2007年8月31日

森トラスト・ビルマネジメント株式会社

所 在 東京都港区虎ノ門
社 長 内村 賢一
設 立 2002年4月1日
資 本 金 1億円
事業内容 ビルマネジメントに関する業務全般

MTアドテック株式会社

所 在 東京都港区虎ノ門
社 長 村田 正樹
設 立 2009年2月27日
資 本 金 4億5,000万円
事業内容 ICTコンサルおよびソリューションの提供

森観光トラスト株式会社

所 在 東京都品川区北品川
社 長 遠藤 信幸
社 長 伊達 美和子
設 立 2006年4月3日（新設分割による設立年月日）
資 本 金 20億円
事業内容 ラフォーレホテルズ&リゾーツ、
ウェスティンホテル仙台および
観光インフォメーションセンターの運営など

エムティジェネックス株式会社

所 在 東京都港区新橋
社 長 鈴木 均
創 業 1945年10月
資 本 金 10億7,206万円
事業内容 ビル・住宅のリニューアル工事請負、
駐車場運営管理など

株式会社万平ホテル

所 在 東京都港区虎ノ門
会 長 伊達 美和子
社 長 柳内 康孝
創 業 1894年（明治27年）
資 本 金 1億円
事業内容 万平ホテルの所有・経営・運営

東洋ハウジング管理株式会社

所 在 東京都港区六本木
社 長 許斐 信男
設 立 1979年11月27日
資 本 金 1,000万円
事業内容 不動産の賃貸管理および運営業務ならびに
これに付随する業務

MT&ヒルトンホテル株式会社

所 在 東京都港区虎ノ門
社 長 大岩 一彦
設 立 2004年10月22日
資 本 金 2,000万円
事業内容 コンラッド東京の経営

森トラスト・アセットマネジメント株式会社

所 在 東京都港区赤坂
社 長 堀野 郷
設 立 2000年2月28日
資 本 金 4億円
事業内容 投資法人資産運用

MTゴルフ開発株式会社

所 在 東京都港区虎ノ門
社 長 小松 稔男
設 立 2004年11月19日
資 本 金 1億円
事業内容 ラフォーレ&松尾ゴルフ倶楽部の
所有・経営・運営

城山熱供給株式会社

所 在 東京都港区虎ノ門
社 長 笠原 正英
設 立 1989年11月6日
資 本 金 3億円
事業内容 城山ガーデンおよび周辺地区の地域冷暖房

フォレセーヌ株式会社

所 在 東京都港区虎ノ門
社 長 許斐 信男
設 立 2011年3月31日（新設分割による設立年月日）
資 本 金 1億円
事業内容 都市型共同住宅の分譲・賃貸にかかる
企画・開発・運営

アズマックス株式会社

所 在 東京都中央区日本橋
社 長 溝部 道信
設 立 1947年8月11日
資 本 金 4億9,900万円
事業内容 異形みがき棒鋼の製造販売業

東洋グリーン建物株式会社

所 在 東京都港区虎ノ門
社 長 許斐 信男
設 立 1978年3月1日
資 本 金 9,000万円
事業内容 分譲マンション管理

アーバンライフ株式会社

所 在 兵庫県神戸市東灘区本山南町
社 長 高橋 宏一
設 立 1970年7月31日
資 本 金 30億円
事業内容 中高層住宅・ビル・店舗の企画・開発・
分譲・販売など

アーバンライフ住宅販売株式会社

所 在 兵庫県神戸市東灘区本山南町
会 長 高橋 宏一
社 長 高津 謙吉
設 立 1982年7月29日
資 本 金 3億円
事業内容 中高層住宅の企画・販売、不動産の売買・
賃貸・仲介・管理運営など

(2012年3月31日時点)

森トラストグループ 持分法適用関連会社概要

株式会社ロイヤルホテル

所 在 大阪府大阪市北区中之島
設 立 1932年2月10日
事業内容 宿泊、宴会、料飲店舗等を中心とする
ホテル経営およびホテル付帯事業など

日本エスリード株式会社

所 在 大阪府大阪市福島区福島
設 立 1992年6月8日
事業内容 マンション分譲事業・建て替え分譲事業・
賃貸事業など

森トラスト総合リート投資法人

所 在 東京都港区赤坂
設 立 2001年10月2日
事業内容 「不動産等」および「不動産等を主たる投資対象
とする資産対応証券等」に対する投資

(2012年3月31日時点)

比較連結貸借対照表

森トラスト株式会社

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,071	20,138
受取手形及び営業未収入金	3,233	4,551
有価証券	46,454	71,931
販売用不動産	16,564	9,604
仕掛不動産	105,560	110,009
開発用不動産	15,996	13,765
その他のたな卸資産	2,247	2,490
繰延税金資産	1,099	1,452
その他	3,742	2,954
貸倒引当金	△ 383	△ 563
流動資産合計	234,586	236,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	351,287	354,772
減価償却累計額	△ 191,477	△ 201,393
建物及び構築物(純額)	159,810	153,379
機械装置及び運搬具	8,198	8,351
減価償却累計額	△ 6,315	△ 6,555
機械装置及び運搬具(純額)	1,882	1,796
土地	392,061	411,285
コース勘定	1,489	1,489
建設仮勘定	422	962
その他	5,774	5,822
減価償却累計額	△ 4,380	△ 4,698
その他(純額)	1,393	1,124
有形固定資産合計	557,060	570,037
無形固定資産		
借地権	6,225	6,306
のれん	113	79
その他	816	355
無形固定資産合計	7,155	6,741
投資その他の資産		
投資有価証券	9,563	20,322
関係会社株式	28,716	8,914
長期貸付金	850	213
繰延税金資産	647	414
差入保証金	5,143	4,572
その他	1,489	1,961
貸倒引当金	△ 236	△ 51
投資その他の資産合計	46,174	36,348
固定資産合計	610,390	613,127
資産合計	844,976	849,461

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,955	6,297
短期借入金	187,600	128,060
一年内返済予定長期借入金	85,581	120,759
未払金	3,420	2,542
未払法人税等	4,509	8,930
未払費用	662	758
前受金	5,250	5,369
預り金	826	902
賞与引当金	389	365
災害損失引当金	505	-
その他	289	491
流動負債合計	293,990	274,477
固定負債		
長期借入金	203,519	224,014
預り敷金	53,755	54,813
預託金	63,361	59,175
長期預り金	304	318
繰延税金負債	9,180	7,403
退職給付引当金	2,695	2,582
その他	182	247
固定負債合計	332,999	348,555
負債合計	626,989	623,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
利益剰余金	205,321	213,427
株主資本合計	215,321	223,427
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	134	25
繰延ヘッジ損益	△ 28	-
土地再評価差額金	-	37
為替換算調整勘定	△ 65	-
評価・換算差額等合計	40	62
少数株主持分	2,624	2,937
純資産合計	217,986	226,428
負債純資産合計	844,976	849,461

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

比較連結損益計算書

森トラスト株式会社

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月 1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月 1日 至 平成24年3月31日)
営業収益	111,962	95,574
営業原価	78,891	66,309
営業総利益	33,071	29,264
販売費及び一般管理費	12,960	9,246
営業利益	20,110	20,017
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,818	214
持分法による投資利益	743	5,330
その他	1,248	1,396
営業外収益合計	3,810	6,940
営業外費用		
支払利息	5,619	4,140
その他	1,166	366
営業外費用合計	6,785	4,507
経常利益	17,135	22,450
特別利益		
固定資産売却益	52,882	-
投資有価証券売却益	12,974	4,865
その他	73	21
特別利益合計	65,930	4,887
特別損失		
固定資産除却損	-	187
減損損失	40,690	-
持分法による投資損失	7,032	-
事業構造改善費用	6,695	-
その他	3,069	102
特別損失合計	57,488	290
税金等調整前当期純利益	25,577	27,048
法人税、住民税及び事業税	9,492	12,355
法人税等調整額	1,187	△ 1,798
法人税等合計	10,679	10,556
少数株主損益調整前当期純利益	14,898	16,491
少数株主利益	156	372
当期純利益	14,742	16,118

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。